



今後の予定

- 10月30(土),31(日) 五国連携プログラム「地理情報システムを探究活動に利用する」(人と自然の博物館)
- 11月3日(水) 課題研究Ⅱ(田村班) 京都大学で発表
- 11月16日(火) 探究Ⅱ中間発表会
- 11月22日(月) (株)神戸工業試験場へ企業訪問
- 11月27日(土) 数学・理科甲子園(アクリエ姫路)

VOL.95

2021.10.27

課題研究Ⅱ中間発表会

10月6日(水)の午後に、75回生(第2学年)総合自然科学科の課題研究Ⅱ中間発表会が行われました。4月のオリエンテーションや研究班分けを経て、約半年間行ってきた研究成果をポスター形式で発表しました。研究の目的や意義の説明から始まり、進捗状況、今後の展望を発表しました。また、この発表には74回生(第3学年)総合自然科学科の先輩、他校の先生方、企業の方も見学し、活発な質疑応答もできました。ここで頂いた意見や指摘事項を今後の研究に活かしていきます。以下に発表した8テーマを列挙します。

- ①『車体の質量と水はねの関係』
- ②『データの不正を暴く』
～ベンフォードの法則を用いて～
- ③『カゼインプラスチックの改良Ⅱ』
- ④『龍高生が考えるテラフォーミング計画』
～極低温下においたイシクラゲからの酸素発生に挑む～
- ⑤『ため池を活用した地域の絶滅危惧植物の生息域外保全』
- ⑥『やはり太陽は遠かった』
～実測値から地球と太陽の距離を求める～
- ⑦『腐敗によるレタスのしぼり汁の透過度の変化』
- ⑧『龍野高校周辺の内水氾濫の危険性』
～GISとオープンデータの活用～



データサイエンスコンテスト決勝進出

姫路西高校主催の五国SSH連携プログラムに1年伊藤真穂さんと岡原実咲さんが参加し、決勝進出を果たしました。内容はビッグデータを活用して旅行ビジネスプランを作成し、英語でプレゼンをするというものです。このコンテストは国内6校28名、台湾29名、オーストラリア28名、合計85名が参加し、各国2名ずつ計6名でチームを編成し14チーム中5チームが決勝に進出しました。決勝は10月24日(日)に兵庫県立大学社会情報科学部キャンパスで行われました。決勝に進出した国内参加者は本校以外すべて2年生です。優勝したチームには特典としてオーストラリア、台湾の生徒が日本に集まり、3泊4日の期間一緒に旅行できます。優勝目指して精一杯アピールしましたが、結果は3位でした。他のチームの発表を聴き、とても良い体験になりました。

